令和７年度　第１回匝瑳市市民協働推進協議会　会議結果概要

○開催日時　　令和７年９月２６日（金）　午後１時３０分から午後３時３０分まで
○場　　所　　市民ふれあいセンター　視聴覚室
○出席委員　　佐藤栄子委員、加瀬功一委員、新井佳余子委員、石井勝夫委員、
鈴木幸一委員、淺川大輔委員、鵜澤和子委員、渡辺琴子委員、
北條将徳委員（９名）名簿順
（欠席委員）椎名慎太郎委員（１名）
○市出席者　　宮内康幸市長
（事務局／環境生活課）岩瀬哲課長、椎名貴之主査、鎌形健副主査

発言者	内　　容
	１．開　　会
	２．委嘱書の交付
	３．あいさつ（宮内市長）
	４．委員紹介 《委員改選後、初めての協議会のため、事務局より委員を紹介する。》
	５．議　　事 **（１）会長、副会長の選出について** 《委員の互選により、 会長に佐藤栄子委員、副会長に加瀬功一委員が決定した。》
会　長	《佐藤会長あいさつ》
	（２）市民協働推進の取組について 《事務局から市民協働推進の取組について説明》 ※宮内市長は公務のため、ここで退席
	（３）市民提案型事業の審査 《提案者から事業について説明》 《各委員からの質問・意見》
委　員	・事業場所である、よってってハウス「てくてく」の家賃は月額いくらか。
提案者	・約９万円である。
委　員	・車いすの方も利用できるのか。
提案者	・部屋の構造上、利用は厳しい。何とかしたいと考えている。

委　員	・宿泊は可能か。
提案者	・体験会は行っている。
委　員	・普段の仕事は何をしているのか。
提案者	・夫は畜産に従事しており、私がＮＰＯ法人マカロンの運営を行っている。
委　員	・７月から事業を開始しているとのことだが、これまでにどのくらいの利用者がいたか。
提案者	・２０人ほどである。イベントを実施した際は４０～５０名（１０組～２０組）は来てくれた。
委　員	・収支予算書の中の収入の部、会費の内容に２０組とあるが、これが一度に来たときに対応できるのか。
提案者	・一度に２０組来ることは想定していない。
委　員	・市との協働について、どのように考えているか。
提案者	・子育て支援推進課の担当者と意見交換をしたことがあり、「市ではつどいの広場を開設しているが、こういった施設はない。また、土日も開いていたり不登校児童にも対応するといった、市が手の行き届かない部分をカバーしており、広い範囲での連携が考えられる。」とのことであった。
委　員	・指導者はどんな人か。看護師等の資格がある人か。
提案者	・指導者は資格はなく、一般の方にお願いしている。現在は一人で利用が難しい方については、介護者と一緒に利用をしている。今後、支援学校を退職した先生に協力をお願いできないか、相談していきたい。
委　員	・提案者の負担が大きいと感じる。食事は提供しているのか。
提案者	・提供していない。
委　員	・１日「てくてく」に居てもよいのか。
提案者	・よい。食事は持参してもよいし、台所があるので、そこで作ってもよい。
委　員	・地域とのつながりはどうか。
提案者	・高齢者はまだまだだが、子どもは少しずつ来ている。
委　員	・今後の構想等があればお伺いしたい。
提案者	・まず、ＮＰＯ法人マカロンはこの事業を行うために設立した。「てくてく」は子どもを預かる施設ではなく、障害のある子もない子も、また、その家族もいつでも誰でも寄れる「居場所」として、地域交流の場、また、健常者に障害者を理解してもらう場になればよいと考えている。今後は、子ども食堂の実施も考えている。 《質疑応答終了》 《審査基準に基づく審査》 《審査結果の報告、付帯事項の調整》 **６．閉　　会** 以　上